

教科名	芸術	単位数	2単位	担当者	中川 史子
科目名	音楽 I	年次	1年次		
使用教科書 副教材等	高校生の音楽① The Basics of Music				
1 学習の到達目標 (育成すべき資質・能力)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己のイメージを持って創意工夫した音楽表現をするための基礎的な技能を、身につけることができる。 ・ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現の意図を持つことができる。 ・ 感性を高め、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。 					
2 学習の評価 (評価基準と評価方法)					
観点	a. 知識及び技能	b. 思考力,判断力,表現力等	c. 主体的に学習に取り組む態度		
観 点 の 趣 旨	創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・共同的に表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。		
主 た る 評 価 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ 自己評価・相互評価 ・ 作品提出 ・ 実技テスト ・ 筆記テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ 自己評価・相互評価 ・ 相互鑑賞 ・ 作品提出 ・ 実技テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ 自己評価 ・ 作品提出 		
評 価 全 体 に 占 め る 割 合	30%	30%	40%		
3 学習の目標と振り返り					
	≪目 標≫ ～何ができるようになりたいか具体的に～		≪振り返り≫ ～学習の振り返りと今後の課題～		
前 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		
後 期			【達成できた・一部達成できた・達成できなかった】		

4 学習の内容						
学期	学習内容 (単元)	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
		a	b	c		
前期	◆オリエンテーション (1)	○			a:一年を通して、音楽でどのような力をつけていくか、目標を明らかにする。	a:ワークシート
	◆校歌について、歌詞の内容、曲の背景を理解して、手稲高校生としてふさわしい表現で歌おう (8)	○		○	a:曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけている。 b:知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って表現している。 c:正しい発声を身につけ、表現する歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	a・b:実技テスト
	◆音色を工夫したり、リズムパターンを変化させたりしてリズム合奏を楽しもう (10)	○		○	a:拍子とリズムの関係を理解して、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 表現するための技能を身につけている。 b:リズム同士の関連を知覚し、感受したこととの関わりについて考え、生き生きと演奏するよう工夫している。 c:自己のイメージを表現する学習活動に、主体的・協働的に取り組もうとしている。	a・b:実技テスト a・b:作品提出
後期	◆詩・短歌・俳句をもとにして、イメージを膨らませて音楽をつくろう (6)	○		○	a:文字から感受したイメージに基づきながら、音を連ねたときの響きなどに関わらせて理解を深めている。 創作表現をするために必要な、旋律を作ったり、作った旋律に和声などをつけたりする技能を身につけている。 b:知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持って表現している。 c:創作の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	b:作品提出
	◆日本語の響きや歌詞の内容、曲の背景を理解して、ふさわしい歌声で表現しよう (6)	○		○	a:日本語の特性に応じた発声との関わりについて理解している。 曲にふさわしい発声、日本語の発音の仕方などの技能を身につけている。 b:理解した歌詞の内容から思い浮かぶ自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:日本語を美しく歌う歌唱の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	a・b:実技テスト
	◆イタリア語の発音の特徴を捉え、曲の雰囲気を楽しみながら歌おう (6)	○		○	a:言葉の特性に応じた発声との関わりについて理解している。 曲にふさわしい発声、言葉の発音の仕方などの技能を身につけている。 b:理解した歌詞の内容から思い浮かぶ自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫している。 c:イタリア語による歌唱、曲の雰囲気を生かした表現を工夫することなど、学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	a・b:実技テスト a・b:作品提出
	◆日本の民謡や民俗芸能の特徴を知って、その特徴を感じ取ろう (3)	○		○	a:民謡や民俗芸能の分類、民謡で用いられる音階やリズムについて理解を深めている。 様々な音楽の文化的・歴史的背景や、地域ごとの音楽の多様性を理解している。 b:知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、よさや美しさを味わって聴いたりしている。 c:それぞれの地域の文化への理解を深める鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	a・b:筆記テスト

◆西洋の音楽を聴いて、時代背景を考察しながら、曲に込められた作曲者の思いを話し合おう（8）	○	○	○	a: 曲想や音楽の構造、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。 b: 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを味わって自ら聴いている。 c: 鑑賞の学習活動に主体的・協働的に取り組もうとしている。	a・b: 筆記テスト a・b: 作品提出
◆楽器の演奏を通じて、楽器や曲想にふさわしい演奏ができるようにしよう（12）	○	○	○	a: 楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 必要な奏法などの技能を身につけている。 b: 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、生き生きと演奏するよう工夫している。 c: 自己のイメージを表現する学習活動に、主体的・協働的に取り組もうとしている。	a・b: 実技テスト
◆音楽とは何か、考えてみよう（2）	○			a: 自己のイメージする音楽を表現するための知識を身につけている。 音楽を表現するための技能を身につけている。	a・b: 筆記テスト
◆これからの音楽（1）	○			a: 一年間で身につけた力を確認し、今後の進路においてどのように活用していくかを考えることができる。	a: ワークシート